

小木直江津航路の概要等

就航船舶	高速カーフェリー「あかね」		
建造年月	平成27年4月		
船齢	5年		
最大旅客定員	628人		
車両積載能力	乗用車152台		
貨物積載の可否	積載可		
所要時間	100分		
運行期間	3月1日～11月15日		
運行ダイヤ	直江津→小木	小木→直江津	
	9:30 11:10 14:10 15:50	11:50 13:30 16:30 18:10	
運賃 ※1	区分	一般旅客	団体旅客
	片道	1等 5,010円	1等 4,300円
		2等 3,800円	2等 3,270円
	往復	1等 9,070円	
2等 6,890円			
回遊	旅客運賃の設定なし		



ジェットfoil「ぎんが」	
昭和54年12月	
41年	
250人	
—	
小荷物のみ可	
75分	
4月29日～10月31日	
直江津→小木	小木→直江津
8:55 10:10 13:50 15:05	11:20 12:35 15:45 17:00
一般旅客	団体旅客
6,680円 (新潟航路+210円)	5,860円 (新潟航路と同額)
11,700円 (新潟航路と同額)	11,090円 (新潟航路と同額)
11,700円	11,090円

※1 燃料油価格変動調整金含む

佐渡へは早くなくても物資や車は運べず 上越市、「現段階では佐渡汽船株への財政支援はしない」

市議会文教経済常任委員会は22日、「佐渡汽船株の経営改善」に伴う小木直江津航路の就航船舶の変更について「所管事務調査を行い、今後の小木直江津航路の在り方、佐渡汽船株への支援などについて質疑を行いました。」

小木直江津航路については昨年10月、佐渡汽船株、佐渡市、上越市、新潟県の4者合意を経て、佐渡汽船株の

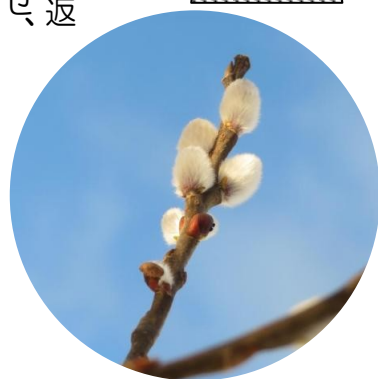
取締役会において、「あかね」を売却する方針を決議し、仲介人を入れて国内・海外での売却先を探しています。

また、同航路の就航船舶についてはジェットfoil「ぎんが」を就航させることとして、左表の通り、運賃や運行ダイヤを決めています。

上越市では、「あかね」の売却先等が確定し、同社の経営状況を確認した

うえで、補助金の返還と合わせ、支援を検討することとしています。ですから、新年度予算には支援経費は計上されませんでした。

この日の委員会では、こうした事態を受けて、「あかね売却が決まらないと不透明だが、本当に次の段階に行けるのか」「あかね売却まで財政的支援をしないのであれば、利用客を増やしていくところに向き合っていく必要があるのでは」「最終的にはカーフェリーに戻すことを考えているか」などの質問が出ました。



【ネコヤナギ】(再掲)
ヤナギ科の落葉低木。春を告げる代表的植物の一つです。花期は3～4月ですが、最近では気温によってはもっと早くなります。銀白色の花穂はネコの尾に似た感じがします。花言葉は「自由」「思いのまま」「開放的」。写真は2月19日、吉川区代石にて撮影しました。

市側は、「いま、確定的にできるもの(支援)はない。出来ることのないのはがゆい。でも、予算を伴わない支援もしていきたい」「むしろいいのは上越市と佐渡市の決定的な違いだ。佐渡市は「命綱」、上越市は「送り出す側」。ここで商売しようという厚みはなかなか出てこない。小木直江津航路にこういう意味があるかまで深めないと議論の厚みは出てこない。出しやすさの工夫もしていく必要がある」などのべていました。

雪害対応などでたくさんの質問

21日に行われた上野市議の「ざっくばらんに何でもトーク」に答弁者として参加してきました。上野市議が豪雪対策や新型コロナウイルス問題などで報告。その後、何でもトークでした。

参加者からは「大潟区などの海岸沿いの松の豪雪による被害は強烈だ。どうしたらいいか」「保倉川放水路の整備計画の状況についてどうみているか」「農業ハウスはギリギリのところを守った。今後は自然との共存が大事だと思っている」「市は箱モノが多いのではないか」「今冬の災害では集約された総合事務所が試された。以前よりも情報が入らなくなったし、現場がどこにあるかわからない職員もいた。災害時のことを考えた人事をやってもらいたい」「災害救助法適用はどのような仕組み

となっているか。適用時の救助の申請手続きはもっと簡略にしてほしい」などたくさん質問や意見、要望が出ました。

お寄せいただいたご意見、ご要望は3月議会などでとりあげてまいります。



はしづめ法一の活動レポート

No.2000 2021.2.28

発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
Tel 025-548-3628
通じないときは 090-5392-1961
E-mail hasiznyg_0808@yahoo.co.jp
URL <http://www.hose1.jp/>



ブログ
「ホーセの見たある記」は
← こちら

橋爪法一

検索

春よ来い

第六四七回

春ですね

三寒四温と言いますが、私は季節が冬から春へと大きく舵を切る日があると思っています。今年の場合、その日は二月一九日でした。

前日の一八日はというと、一月七日から数日続いたとか雪の再来かと思わせるような雪の降り方で、しかも強烈な地吹雪があちこちで起こりました。私は小猿屋と東中島間、国道253号線で何度も地吹雪に襲われ、乗っていた軽乗用車をそのたびに止めました。

さて翌一九日です。午前は私の活動しポート一九九九号の印刷と新聞屋さんへの持ち込みでした。午後になってからは「しんぶん赤旗」日曜版の配達です。青空が見え始めて気温も上昇、気持ち良く仕事ができました。

夕方の四時少し前だったと思います。市道代石小苗代線を通ったとき、ふと思ったのです。「そうだ、ネコヤナギが咲いているかも知れない」と。それで配達が一区切りしたところで、カンジキをはいて吉川橋から約二〇〇メートルほどの上流の右岸にあるネコヤナギの木を目指しました。

毎年、この場所でネコヤナギの写真を撮っていますので、どこらへんの木が早く花を咲かせるかはわかっています。木から一〇メートルほどのところで、白っぽいものが枝についていることを確認しました。ネコヤナギの花穂です。やはり咲いていました。

カメラを取り出し撮影を始めたところ、じきにエナガの群れがやってきて、ジュリ、ジュリと鳴いて、枝から枝へと飛び回りました。彼らもうれしいんでしょうね。

吉川の流れの音に惹かれて川を見ると、川の中に倒れ込んでいるネコヤナギがあります。今冬の豪雪でやられたのでしょうか。冷たい水の流れのそばで健気に花を咲かせていました。これも写真に撮りました。

二〇分後、そろそろ引き上げようという

段階で最高のシャッターチャンスがやってきました。私がいいた場所の上空に青空が広がりはじめたのです。それをバックにカメラをネコヤナギに向けました。おかげ様でネコの毛のような花穂の細かいところまで鮮明に見える写真を撮ることができました。これなら活動しポート二〇〇〇号に載せるにふさわしい野の花になる。そう思うと、うれしくなりました。

ネコヤナギは写真だけでなく、花を咲かせた枝も何本かいただいてきました。春を告げるネコヤナギの花を家族にも見てもらいたい。そう思って持ち帰ったのです。

そしてもう一人、ネコヤナギを見てもらいたい人がいました。先日、突然亡くなったKさんです。今冬の厳しい冬を体験したKさんにも春の到来を喜んでもらいたいと思っただけです。

夕方の時間帯ではありましたが、その日のうちにKさん宅へ行き、壇のところにネコヤナギを飾っていただきました。

「じい、橋爪さん来てくんかったよ」

Kさんの遺影に向かって声をかけたお連れ合いは、若かりし頃、Kさんと結婚し、人生を一緒に歩むことにした理由などについて私に語ってくださいました。

「顔はね、渥美清をくずしたような顔だったけど、手が大きかったの。この手だったら、私を守ってくれると思ったの……。いろいろあったけど、私、幸せでした」

この言葉を聴いたら、恥ずかしくなるくらい涙がぼろぼろと出てきました。

一九日から変わった季節の流れは二〇日、さらに大きくなり、春一番が吹きました。

私は咲いたばかりのマンサクの花を朔日味で見つけ、これも写真に撮るとともに小枝を何本かいただいてきました。そのうちの一本は市道代石小苗代線で散歩中のMさんに分けました。Mさんは、ほほ笑んで言いました。「春ですね」と。

おかげ様で活動レポートは2000号になりました

活動しポートは今号で2000号になりました。ご支援くださいました皆さんに心から御礼申し上げます。

活動しポートは1985年（昭和60年）の5月に行われた旧吉川町議補欠選挙で当時25歳の日本共産党候補が当選し、複数議

席を獲得したことを契機に発行しました。以来、毎週発行を続け（町議時代の定例議会では毎日発行）、今日に至りました。

36年かかって2000号に到達しましたが、この間、物心両面で活動しポート読者の皆さんから支えていただきました。ありがとうございました。これからも発行し続けますので、よろしく願いいたします。

大島区のEさんから、激励の

メッセージをいただきましたので、紹介します。

2000号発行おめでとうございませう。自ら歩いて、見ての記事、いつも楽しく拝見しています。「春よ来い」では、お母さんとのほっこりした会話を読ませていただき、私が中学時代に他界した母をいつも思い出しています。これからも続けてください。

マンサク、例年より1週間ほど早く開花



春を告げる野の花のひとつ、マンサクが例年より1週間も早く黄色いびうびうの花を咲かせています。

マンサクはマンサク科の落葉小高木。漢字では、「万作」または「満作」と書きます。雪がたっぴりあるところで、青空をバックにするととても美しいですね。写真は20日に撮影しました。

上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	2月17日(水)	2月24日(水)
上越南消防署	0.053	0.043
上越北消防署	0.057	0.043
新井消防署	0.057	0.057
頸北消防署	0.050	0.043
頸南消防署	0.067	0.063
東頸消防署	0.057	0.057
名立分遣所	0.057	0.050
高士分遣所	0.060	0.043